



喜多郎が全ての人へ届けたいメッセージが込められたオリジナル・ニュー・アルバム

“ファイナル・コール”が完成!!!

世代、人種の壁を超えて今感じて、気付かなければならない答えがここにある、

希望へと向かう航海を奏でる、壮大な音楽叙事詩。

“ファイナル・コール” 喜多郎

RELEASE : 2013.9.4

YZDI-10106

¥3,150-(税込) < ¥3,000-(税抜) >

発売元: DIAA株式会社

販売元: クラウン徳間ミュージック販売株式会社

DIAA

“喜多郎”最高傑作誕生!!
グラミー受賞アルバム“シンキング・オブ・ユー”そして、
ビルボード ニュー・エイジ チャート8週連続1位に輝いた“古事記”を超える、
メロディアスで、ドラマティック、そして壮大なサウンドが包み込む!!!



■収録曲■

01. Final Call
02. Jupiter's Beam
03. Yo-en
04. Shadow Of The Moon
05. Traveler
06. Valley Of The Spirit
07. After Glow
08. Wind From The Desert
09. Moment Circle
10. Whispering Shore
11. Solar Eclipse

■FINAL CALL

このアルバム“ファイナル・コール”は、すべての生物がいつか幸福になるためにお互いが調和して生きることができるという願いが込められた希望への音楽叙事詩です。

喜多郎は自然への尊敬の念として“ファイナル・コール”を創り上げ、私たちがどのように惑星、自然と調和するかについて思いを寄せています。

喜多郎は感じています、惑星は大声で叫んでおり、私たちが真摯にこれらの地球規模の問題に取り組まなければ、取り返しの付かない事になると、私たちに警告にしている事を。

「私は、私たちがみな宇宙の摂理を尊重しなければならないと常に思いました。
不運にもこのままでは、私たちが今知っている多くの生物が絶滅するでしょう。
私たちが変わらなければ、そしてお互いを尊重しなければ、この地球は荒らされ、そして結局何もなくなるでしょう。
このアルバムは希望への航海の話です…
生き物はいつか幸福に互いと調和して生きることができます。
私たちがそこへ向けて今旅立たなければなりません。」



■ 喜多郎 / PROFILE

喜多郎のアメリカ・デビューは「天空 (Tenku)」(1986)。「ザ・ライト・オブ・ザ・スピリット (The Light Of The Spirit)」(1987)ではグレイトフル・デッドのドラマー、ミッキー・ハートと共作し、初のグラミー賞ノミネート、アメリカ国内だけで2百万枚以上のセールスを記録と同時に初の全米ツアーを実施。「ドリーム (Dream)」(1992)ではイエスのジョン・アンダーソンと共作、これも大ヒットを記録、傑作と評された。

翌年、オリバー・ストーン監督の映画「天と地 (Heaven & Earth)」の音楽を担当しゴールデン・グローブ賞 ベスト・オリジナル・スコア部門を受賞。グラミー賞にノミネートされた「マンダラ (Mandala)」(1994)をはじめとして、ライブ録音「天空への響き Live in USA (An Enchanted Evening)」(1995)、深い精神世界を映し出した「ガイア・オンバシラ (Gaia Onbashira)」(1998)、ドキュメンタリー番組「四大文明」のサウンドトラックでグラミー賞にもノミネートされた「エンジェント (Ancient)」(2001)とその続編ともいふべき「永遠の時を (Ancient Journey)」(2002)、さらにグラミー賞ニューエイジ・アルバム部門を受賞した「Thinking of You」(2000)など、喜多郎は精力的に作品をリリースし続けている。

2003年リリース「空海の旅 (Sacred Journey of Ku-kai)」は平和をテーマとしたコンセプト・シリーズの幕開けであり、この作品から喜多郎の平和への祈りは新たなる極みへの第一歩を踏み出した。また、このシリーズは空海(弘法大師)が千年以上の昔にはじめたといわれる「四国 遍路八十八ヶ所」をテーマとしており、アルバム収録の各曲には喜多郎自身が録音したひとつひとつの寺院の鐘の音が織り込まれている。

そして「空海の旅4(Sacred Journey of Ku-Kai4)」は、第53回グラミー賞にノミネートされており、喜多郎は日本人として快挙となる14度目のノミネーションをとげた。